

中川村橋梁長寿命化修繕計画

【令和5年度版】

公 表 版

令和5年6月



中川村役場 建設水道課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1.1 背景

1 長寿命化計画の改訂

本計画は、予防保全型維持管理を基本に道路橋の安全およびライフサイクルコスト削減を踏まえた長寿命化計画として、平成 30 年 3 月に策定されています。

令和 4 年度版は、平成 28 年 12 月に道路法施行規則の一部が改正されたことにより、計画的な点検と修繕の方法を定めることが必要となり、令和 4 年度に実施された道路橋定期点検結果を用いて、計画の見直しを行ったものです。

また、平成 28 年 3 月の道路メンテナンス会議における橋梁長寿命化に関する班別討議結果等を踏まえ策定しました。

2 中川村が抱える課題

中川村が管理する橋梁は、令和 4 年現在で 104 橋架設されています。その内の 7 割が 1960 年から 1980 年頃までの高度経済成長期に集中的に整備されています。

このため、建設後 50 年を経過する橋梁は、全体の 56% を占めており、20 年後の令和 25 年には 86% 程度に増加します。^{※1}

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用の増大が懸念されます。

※1：対象橋梁 100 橋における割合です。

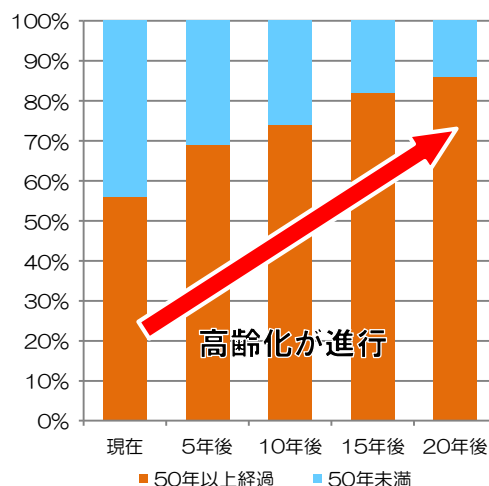


図 1.2 橋梁の経過年の推移

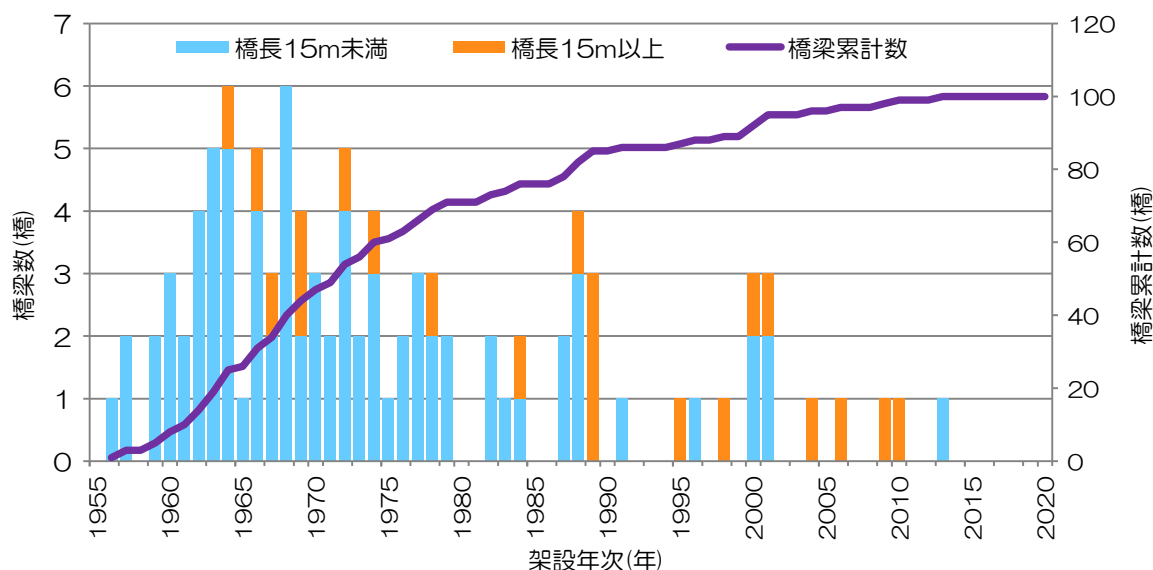


図 1.1 橋梁の架設年

1.2 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで中川村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

2. 長寿命化計画の対象橋梁

2.1 対象橋梁

長野県中川村が管理する橋梁は、令和5年3月現在 104 橋あります。このうち、本計画では、橋長 2m 未満の BOX カルバート 4 橋（※下表 2.1 参照）を除く 100 橋を計画の対象橋梁としています。

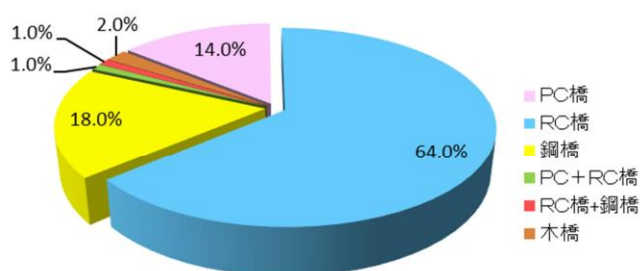
この 100 橋のうち、15m以上が 21 橋あり、建設後 30 年以上経過している橋梁も 86 橋と多い状態です。

表 2.1 長寿命化計画対象外の橋梁

橋梁コード	橋梁名	橋長	構造	対象外の理由
38660013	中川村 0013 号橋	1.90m	BOX カルバート	橋長 2m 未満。
38660039	釣根橋	1.44m	BOX カルバート	橋長 2m 未満。
38660058	竹ノ下 1 号橋	1.04m	BOX カルバート	橋長 2m 未満。
38660075	段橋	1.50m	BOX カルバート	橋長 2m 未満。

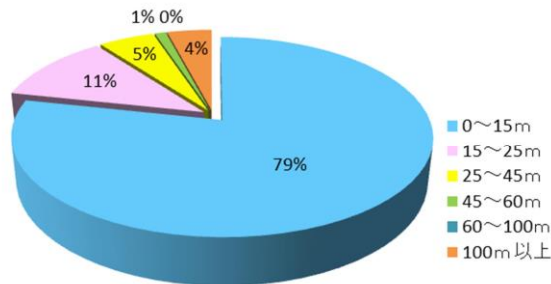
2.2 対象橋梁の種別

1 橋種別橋梁数及び橋種別比率



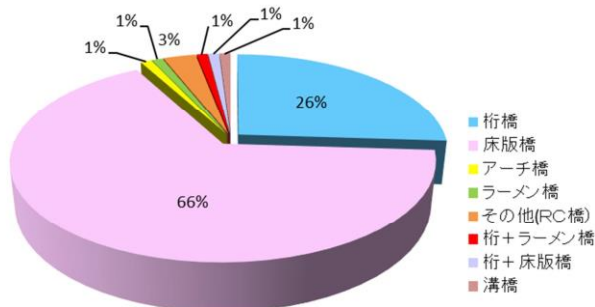
橋梁種別	橋梁数(橋)	比率(%)
PC橋	14	14.0%
RC橋	64	64.0%
鋼橋	18	18.0%
PC+RC橋	1	1.0%
RC橋+鋼橋	1	1.0%
木橋	2	2.0%
合計	100	100.0%

2 橋長別橋梁数及び橋長別比率



橋長区分	橋梁数(橋)	比率(%)
0~15m	79	79%
15~25m	11	11%
25~45m	5	5%
45~60m	1	1%
60~100m	0	0%
100m以上	4	4%
合計	100	100%

3 構造別橋梁数及び構造別比率

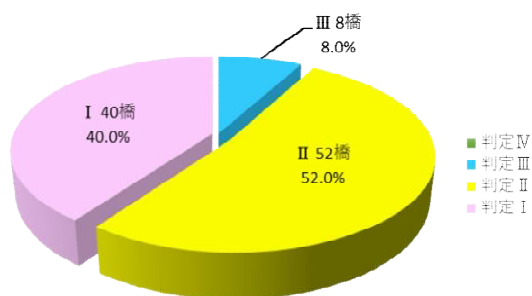


構造形式	橋梁数(橋)	比率(%)
桁橋	26	26%
床版橋	66	66%
アーチ橋	1	1%
ラーメン橋	1	1%
その他(RC橋)	3	3%
桁+ラーメン橋	1	1%
桁+床版橋	1	1%
溝橋	1	1%
合計	100	100%

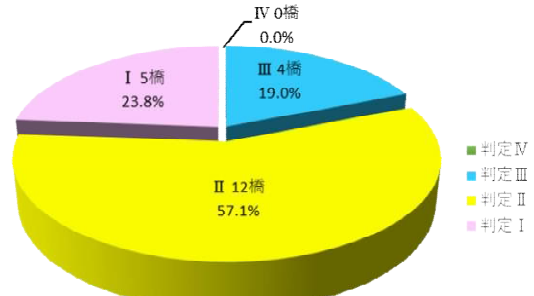
2.3 対象橋梁の老朽化の状況

令和4年度に実施された橋定期点検結果に基づき、対象橋梁の老朽化の状況（健全性の判定区分の割合）を以下に示します。全100橋のうち、判定Ⅳが0橋、判定Ⅲが8橋、判定Ⅱが52橋、判定Ⅰが40橋となります。

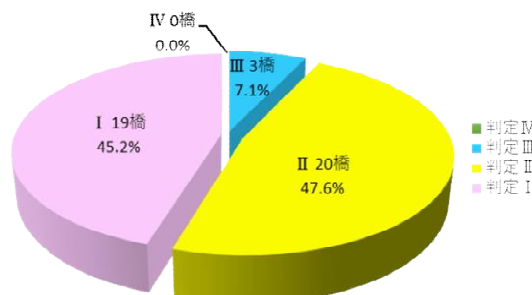
1 全橋梁（100橋）



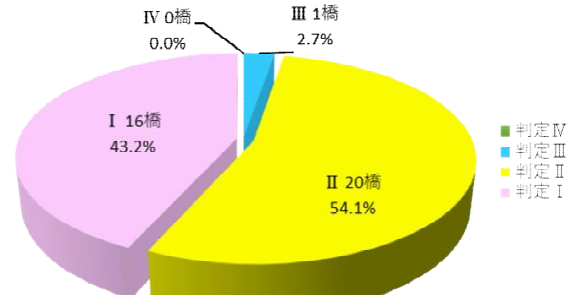
2 橋長 15.0m 以上（21橋）



3 5.0m<橋長<15.0m（42橋）



4 橋長 5.0m 以下（37橋）



判定区分Ⅰ：（健全）構造物の機能に支障が生じていない状態。

判定区分Ⅱ：（予防保全段階）構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。

判定区分Ⅲ：（早期措置段階）構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

判定区分Ⅳ：（緊急措置段階）構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

3. 維持管理に関する基本的方針

3.1 メンテナンスサイクルの構築

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握します。

橋梁は5年に1回、近接目視による点検を実施し、その健全性の診断結果を4段階に区分し、適切な維持管理（メンテナンスサイクル）を行っていく必要があります。

また、点検結果の電子化を図り、今後の維持管理の基礎資料として蓄積します。

さらに、災害時発生時は必要に応じて臨時点検を行い、橋梁の異常、損傷を確認し、早急な対応を図ります。

維持管理に対する基本的な方針（メンテナンスサイクル）は以下のとおりです。

- ① 日常的な維持管理・定期点検（5年に1回）の実施
- ② 健全度の診断
- ③ 修繕計画に基づく修繕対策
- ④ 点検・措置の結果を記録し情報を蓄積→次回点検につなげる

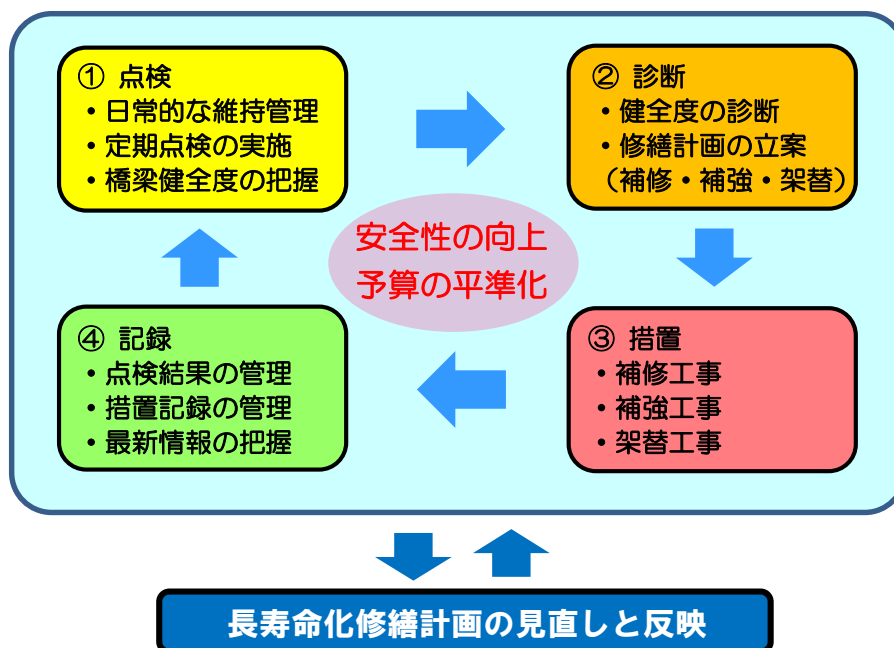


図 3.1 維持管理の流れ（メンテナンスサイクル）

表 3.1 点検の種類

種類	頻度	実施体制	目的
日常点検	パトロール時に実施	職員	損傷の早期発見
定期点検	5年に1回程度	橋梁点検員等	損傷の進行状況の把握
詳細点検	定期点検の結果必要に応じて	橋梁点検員等	損傷の定量的な把握
臨時点検	災害時等必要に応じて	橋梁点検員等	異常・損傷の把握

3.2 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常的な維持管理としては、月 1 回のパトロールと、年 1 回の巡回、そして定期的に簡易点検を繰り返し、異常の早期発見に努めるとともに、以下のような小規模な維持作業を随時実施します。

1 簡易な維持作業

- 路面の舗装補修
- 橋面、排水桝、沓座付近の土砂撤去等

2 月 1 回のパトロールの重点監視箇所

- 路面のクラック・穴、伸縮部の段差
- 高欄（ガードレール）の鉛直方向のたわみ
- 外力（交通事故）等による変形

3 年 1 回の巡回の重点監視箇所

- 排水桝の詰まり・機能回復
- 支承付近の清掃・土砂除去
- 伸縮装置の詰まり



図 3.2 簡易な維持作業の例（土砂の除去）：郷土沢橋

4. 対象橋梁の長寿命化計画

4.1 老朽化対策における基本方針

中川村が管理する橋梁の中で、架設後 30 年以上経過した橋梁は全体の 86% を占めています。そのため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、従来の対処療法型から計画的かつ予防的な修繕対策（予防保全型）の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を 100 年間とすることを目標とし、修繕及び維持管理に要するコストの縮減、ならびに長期的な平準化を図る計画を策定します。

長寿命化計画の計画期間は当初は 10 年間（2024 年 4 月～2034 年 3 月）とし、5 年毎に実施する定期点検の結果を踏まえ、5 年毎に更新をかけながら継続的に進めていきます。

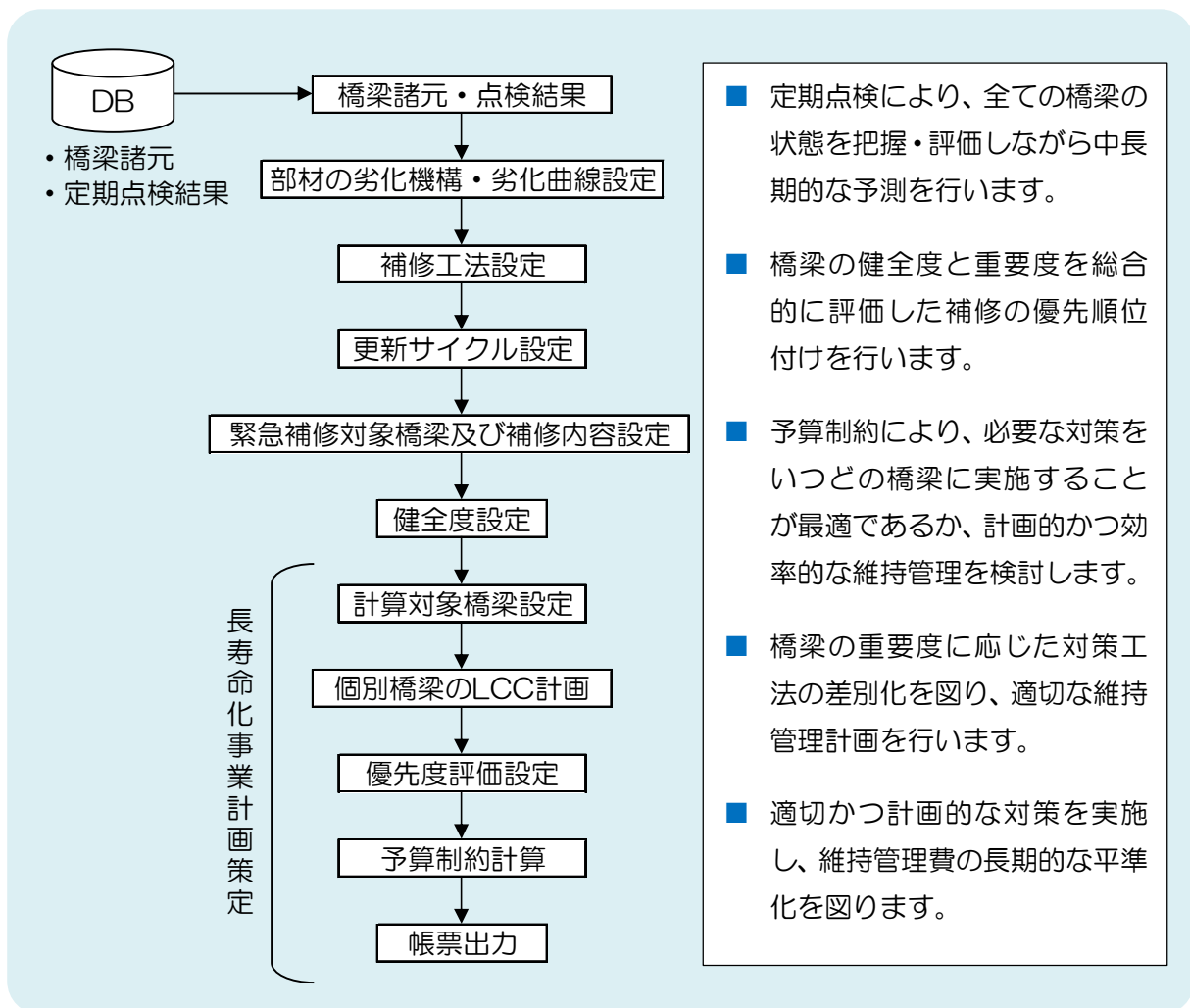


図 4.1 計画策定の流れ

4.2 新技術の活用方針

1 新技術等の活用に関する考え方や取り組み

点検の実施にあたり、点検支援技術性能カタログ等を参考に、全 100 橋について、現場特性、構造形式に適した新技術の活用を検討し、点検の効率化ならびに点検コストの縮減を図ります。

また、修繕においても、新技術情報提供システム（NETIS）や建設技術審査証明等を参考にし、補修工法および補修材料の選定に際し、補修作業の効率化、維持管理性、初期投資からランニングコストを含めて比較検討を行い、コストの縮減を図ります。

2 新技術等の活用に関する目標

点検においては、全 100 橋について新技術の活用した点検を実施します。

特に、橋梁点検車を使用する 5 橋、高所作業車を使用する 2 橋、ロープアクセスにより点検を実施する 1 橋、橋梁点検車に加えロープアクセスにより点検を実施する 2 橋の計 10 橋については、次回点検以降、ドローンや画像診断解析等を用いた点検方法に変えていきます。

また、現在、徒歩、梯子、脚立を使用した点検を実施している橋梁についても画像診断技術を始めとする点検支援技術の活用し、点検の効率化を図ります。

また、修繕においては、新技術情報提供システム（NETIS）や建設技術審査証明等を参考に、従来工法との比較検討を行い、1 橋あたり 1 工法以上の新技術・新工法の採用を検討していきます。

4.3 費用の縮減に関する具体的な方針

1 費用の縮減を図るための考え方や取り組み

点検及び修繕において、新技術の活用によりコストの縮減を図ります。また、迂回路の有無、道路及び橋梁の利用状況等により「集約化・撤去」、「機能縮小」を実施し、コストの縮減を図ります。

2 費用の縮減目標

令和 10 年度までに対象橋梁 100 橋のうち、特に、橋梁点検車及び高所作業車を使用して点検を実施している 8 橋、ならびにロープアクセスにより橋脚の点検を実施している高架橋 2 橋（苦木沢橋、鳳来沢橋）については、「AI による画像診断解析」を用いた新技術による点検を実施し、約 2.5 百万円のコスト縮減を図ります。

また、集約化・撤去によるコスト縮減目標として、令和 10 年度までに迂回路が存在し集約化が可能な 8 橋（下表 4.1 参照）について検討を行い、今後の維持・修繕費約 2 百万円の縮減を図ります。

表 4.1 集約化・撤去を検討する橋梁

橋梁コード	橋梁名	集約化・撤去の理由
38660057	郷土沢橋	迂回路有り
38660060	竹ノ下橋	迂回路有り
38660066	坊ヶ沢橋	迂回路有り
38660071	北びら橋	迂回路有り
38660090	中川村 90 号橋	迂回路有り
38660110	阿弥陀湊橋	松川インター大鹿線の滝沢トンネル開通に伴い旧道となったため。
38660111	五郎畑橋	
38660112	滝沢二号橋	

さらに、定期点検の結果、架け替えが必要と判断された橋梁については、できる限りプレキャスト製の溝橋（ボックスカルバート）へ架替えるものとし、維持管理の省力化ならびにコスト縮減を図ります。

5. 年次計画とコスト縮減効果について

5.1 維持管理効果の縮減効果

本計画では、従来の対症療法型から予防保全型維持管理への転換を図り、計画を作成したものです。

長寿命化修繕計画を策定する 100 橋について、今後 50 年間の事業費を比較した場合、従来の対症療法型が 65 億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が 11 億円となります。このため、54 億円のコスト縮減効果が得られます。

これにより、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。

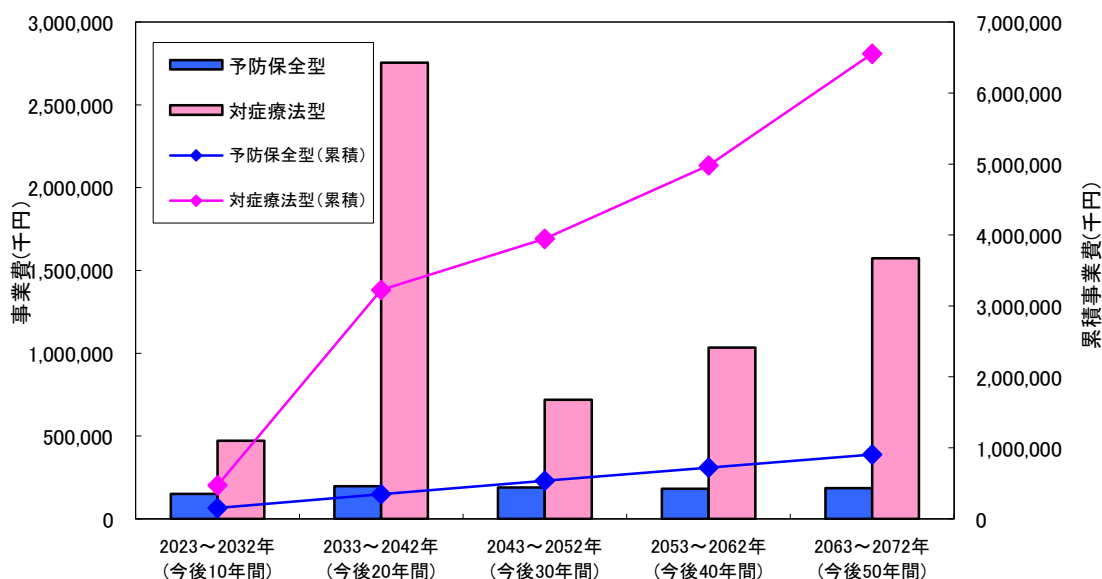


図 5.1 予防保全型維持管理導入によるコスト縮減効果

5.2 年次計画

- 令和 4 年度までに実施された定期点検の結果に基づき、対象橋梁の損傷状況および重要度に応じて、補修内容ならびに補修時期（優先順位）を定め、橋梁毎に計画を立てました。
- 定期点検は平成 26 年度の道路法施行規則改正に伴い、5 年に 1 回の頻度で実施する計画としています。
- 定期点検結果において、健全度Ⅲの橋梁の措置を優先的に実施します。健全度Ⅱの橋については、部材の劣化・更新サイクルの他、定期点検における損傷状況ならびに橋の重要度に応じて優先度を定め、補修内容および補修時期を計画しています。
- この計画により、適切な補修を適切な時期に実施し、維持管理に関わる費用の平準化し、コスト縮減を図ります。
- 今後 10 年間の計画予定は【様式 1-2】によります。

5.3 修繕等措置の着手状況

中川村が管理する対象橋梁 100 橋のうち、令和 4 年度までに実施した定期点検において、「早期措置段階（判定区分Ⅲ）」と判定された橋梁は 8 橋でした。（※「緊急措置段階（判定区分Ⅳ）」と判定された橋梁はありません。）

これらの早期に措置が必要な橋梁に対する、令和 5 年 5 月末時点での修繕等措置の着手・完了状況は以下のとおりです。

表 5.1 早期措置段階（判定区分Ⅲ）橋梁の措置状況

措置の状況	橋梁数（橋）	割合（％）	定義・内容
措置完了	4	50	修繕工事等の対策が完了した橋梁
着手済	3	37.5	補修設計や修繕工事に着手している（発注済含む）橋梁
未着手	1	12.5	現時点で設計・工事等に未着手の橋梁
合計	8	100	

現在「着手済」となっている橋梁については、計画に基づき順次修繕工事を進めています。また、「未着手」の橋梁についても、様式 1-2 の年次計画に沿って優先順位を見極めながら、次回の定期点検（5 年後）までに必要な設計および修繕工事等に着手し、安全・安心な道路交通網の確保に努めます。

【様式 1-2】対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期													
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14				
北組橋	村道 その他	大草中央線	8.97	1965	58	R4	Ⅱ					点検					↔	点検	主部材：表面被覆等		
前沢橋	村道 その他	田島中央線	26	1966	57	R5	Ⅱ						点検				↔	点検	主部材：表面被覆等		
日向沢2号橋	村道 その他	針ヶ平上前沢線	19.6	1989	34	R5	Ⅱ					点検	↔	主部材：表面被覆等				点検			
中川村0002号橋	村道 1級	北山方飯沼線	3.3	1963	60	R5	Ⅱ						点検								
飯沼橋	村道 1級	北山方飯沼線	122.8	1974	49	R5	Ⅱ	床版：床版防水工等					点検								
牧ヶ原橋	村道 1級	沖田牧ヶ原線	137	1978	45	R5	Ⅱ	床版：床版防水工等					点検	→							
井戸入沢橋	村道 1級	大草桑原線	42	2000	23	R5	Ⅱ					点検						点検			
寺坂橋	村道 その他	大草中央線	35.31	2010	13	R5	Ⅲ	橋台：表面被覆等				点検						点検			
前沢川三号橋	村道 2級	上島田島駅線	22	1988	35	R5	Ⅱ	橋台：表面被覆等				点検						点検			
三窪沢2号橋	村道 その他	三ツ久保線	4.8	1966	57	R5	I						点検								
鳳来沢2号橋	村道 その他	間柱平線	5.7	1982	41	R5	I	橋台：表面被覆等					点検								
谷田橋	村道 1級	北山方飯沼線	9.45	1988	35	R5	I						点検								
上垣外橋	村道 1級	中村高遠原線	20.3	1989	34	R5	I					点検						点検			
三窪沢3号橋	村道 その他	三ツ久保線	4.6	1974	49	R5	I						点検								
三窪沢4号橋	村道 その他	峯銭線	3.27	1962	61	R4	I					点検						点検			
中村橋	村道 1級	中村高遠原線	3.78	1964	59	R5	Ⅱ						点検								
和見沢2号橋	村道 2級	西丸尾線	4.9	1968	55	R5	Ⅱ						点検								
黒牛1号橋	村道 2級	谷田黒牛線	6.9	1957	66	R5	Ⅱ						点検								
黒牛2号橋	村道 2級	谷田黒牛線	4.55	1968	55	R5	Ⅱ					点検						点検			
原田橋	村道 2級	渡場清水平線	29.4	1989	34	R5	Ⅱ					点検					↔	点検	床版：上面増厚等		
清水葛北橋	村道 2級	渡場清水平線	3.7	1963	60	R5	I					点検						点検			
神垣沢橋	村道 2級	渡場清水平線	8.5	1978	45	R4	Ⅱ						点検						点検		
日向沢橋	村道 2級	日影林大沢線	14.5	1963	60	R5	Ⅱ					点検						点検			
前沢二号橋	村道 2級	日影林大沢線	14.4	1964	59	R5	Ⅱ					点検						点検			
中川村0017号橋	村道 2級	小和田学校線	5.1	1960	63	R5	I						点検								
中川村0018号橋	村道 2級	小和田学校線	4.3	1959	64	R5	I						点検								
中川村0019号橋	村道 2級	田島南田島線	8.8	1987	36	R5	I						点検								
中川村0020号橋	村道 2級	田島南田島線	5.2	1984	39	R5	I						点検								
根木屋橋	村道 その他	飯沼菅沼線	3.45	1968	55	R5	I						点検								
根木屋上橋	村道 その他	丸尾線支線	4.7	1972	51	R5	I						点検								
沢入1号橋	村道 その他	沢入線	3.4	1971	52	R5	Ⅱ						点検								
沢入2号橋	村道 その他	沢入線	5	1979	44	R5	Ⅱ						点検								
中川村0025号橋	村道 その他	丸尾線	7.4	1976	47	R5	I						点検								
中谷田橋	村道 その他	谷田線	8	1977	46	R4	Ⅱ						点検						点検		
中谷田1号橋	村道 その他	谷田線	5.82	1969	54	R4	Ⅱ						点検						点検		
中川村0029号橋	村道 その他	神又谷田線	5.02	1962	61	R5	I					点検						点検			
中川村0030号橋	村道 その他	神又谷田線	12.6	1977	46	R5	Ⅱ						点検	↔	主部材：塗装等						
中川村0031号橋	村道 その他	神又谷田線	9.3	1976	47	R5	Ⅱ						点検								

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期									
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
手取大橋	村道 その他	飯田田萩平線	7.4	2000	23	R5	I				点検					点検	
柳久保橋	村道 その他	阿坂柳久保線	3.6	1968	55	R5	II						点検				
石見堂橋	村道 その他	北組旧道線	6	1963	60	R4	II					点検					点検
大谷沢橋	村道 その他	宮の入旧北山方線	10.78	1964	59	R4	II					点検					点検
中川村0036号橋	村道 その他	下平殿垣外線	2.62	1966	57	R5	I						点検				
堂洞沢橋	村道 その他	宮前八幡社線	4.5	1970	53	R5	II						点検				
大谷沢1号橋	村道 その他	中組栃ヶ洞線	5.85	1960	63	R4	II					点検					点検
中川村0040号橋	村道 その他	中組久保田線	6.6	1972	51	R5	II						点検				
三窪沢1号橋	村道 その他	桑原中央線	5.5	1964	59	R4	II					点検					点検
中川村0042号橋	村道 その他	桑原中央線	4.5	1973	50	R5	I						点検				
中の平橋	村道 その他	葛北柏原線	18	1998	25	R4	II					点検		←→ 床版・床版防水工 等			点検
観音沢橋	村道 その他	葛北坂下線	10.23	1956	67	R4	II					点検					点検
神垣沢1号橋	村道 その他	柏原神垣沢線	10.3	1957	66	R4	I					点検					点検
苦木沢橋	村道 その他	かつら保育所下線	6	2013	10	R5	I						点検				
小平大橋	村道 その他	小平下の平1号線	17.56	1972	51	R5	II						点検				
横前橋	村道 その他	横前寺久保原田線	2.1	1967	56	R5	II				点検					点検	
中川村0055号橋	村道 その他	寺の前中溝線	4.6	1959	64	R5	I				点検					点検	
南垣外1号橋	村道 その他	上新田鰻沢1号支線	2.5	1960	63	R5	I						点検				
郷土沢橋	村道 その他	竹の上大平社線	11.13	1969	54	R5	II						点検				
竹の下2号橋	村道 その他	竹ノ下線	2.1	1962	61	R5	I						点検				
竹ノ下橋	村道 その他	竹ノ下線	14.2	1972	51	R5	II				点検					点検	
中川村0062号橋	村道 その他	小和田山田線	2.15	1962	61	R5	I						点検				
大平橋	村道 その他	小和田洞ヶ沢3号線	3.95	1971	52	R5	II						点検				
洞ヶ沢橋	村道 その他	小和田洞ヶ沢3号線	4.7	1972	51	R5	II						点検				
坊ヶ沢1号橋	村道 その他	小和田坊ヶ沢線	4.9	1968	55	R5	II						点検				
坊ヶ沢橋	村道 その他	坊ヶ沢上線	5	1961	62	R5	II						点検				
小和田1号橋	村道 その他	小和田外廻線	2.32	1988	35	R5	I						点検				
小和田2号橋	村道 その他	小和田平畑線	2.9	1996	27	R5	I						点検				
針ヶ平1号橋	村道 その他	滝戸針ヶ平線	4	1974	49	R5	I						点検				
北びら橋	村道 その他	大なぎ第1線	19.4	1967	56	R5	II						点検				
大ナギ橋	村道 その他	大なぎ新屋敷線	18.2	1969	54	R5	II						点検				
中川村0073号橋	村道 その他	大なぎ新屋敷線	9.1	1987	36	R5	II						点検				
新屋敷橋	村道 その他	大なぎ新屋敷線	17.2	1969	54	R5	III				点検					点検	
前沢川橋	村道 その他	中通前沢平線	18.25	1964	59	R5	II						点検				
大黒沢橋	村道 その他	大黒沢線	5.35	1968	55	R5	I						点検				
森谷橋	村道 その他	中田島森谷線	4.68	1982	41	R5	II						点検				
熊野洞橋	村道 その他	南田島北洞線	5.45	1967	56	R5	I						点検				
保谷沢橋	村道 その他	南田島観音沢線	7.2	1983	40	R5	I						点検				

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期											
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
八幡沢2号橋	村道 その他	南田島北線	6.05	1988	35	R5	I						点検						
南沢1号橋	村道 その他	南田島旧道線	3.8	1974	49	R5	I				点検					点検			
南沢2号橋	村道 その他	南沢旧道線	3.3	1977	46	R5	I						点検						
中川村0090号橋	村道 その他	堂洞深沢線	5	1963	60	R4	Ⅱ					点検						点検	
青木橋	村道 その他	青木洞線	14.25	1964	59	R5	Ⅱ						点検						
高垣外橋	村道 その他	葛北高垣外線	19.9	1995	28	R5	Ⅱ						点検						
葛北橋	村道 その他	葛島中央線	12.6	1961	62	R5	Ⅲ				点検					点検			
下谷田橋	村道 その他	谷田立線新道2号線	9.05	1978	45	R4	Ⅱ					点検						点検	
大沼橋	村道 その他	黒牛南佐家線	9	1979	44	R5	Ⅱ						点検						
平垣外橋	村道 その他	黒牛平垣外線	5.5	1991	32	R5	I						点検						
下垣外橋	村道 その他	西丸尾下垣外線	3.7	1973	50	R5	Ⅱ						点検						
幹道保谷沢橋	村道 その他	三田島幹線	12.6	2001	22	R5	I						点検						
正名橋	村道 その他	中田島南田島線	8.5	2000	23	R5	I						点検						
支道保谷沢川橋	村道 その他	中田島南田島線	10.8	2001	22	R5	I						点検						
神垣沢2号橋	村道 その他	渡場間柱線	50	2004	19	R5	Ⅱ						点検						
苦木沢橋	村道 その他	渡場間柱線	105	2001	22	R5	Ⅲ						点検						
鳳来沢橋	村道 その他	渡場間柱線	130.24	2006	17	R5	Ⅱ						点検						
中川村0108号橋	村道 その他	大中洞南1号支線	3.7	1975	48	R5	I						点検						
尺宮司橋	村道 その他	中央清水線	31	2009	14	R5	Ⅱ						点検						
阿弥蛇淵橋	村道 その他	滝沢線	19.4	1984	39	R5	Ⅲ						点検						
五郎畑橋	村道 その他	滝沢線	7.3	1966	57	R5	Ⅲ						点検						
滝沢二号橋	村道 その他	滝沢線	13.68	1966	57	R5	Ⅲ						点検						
大皿田橋	村道 その他	南山方間柱線	3.2	1970	53	－	－						点検						
北島橋	村道 その他	葛北北島1号支線	4.6	1970	53	－	－						点検						

主部材：表面被覆等

中川村橋梁長寿命化修繕計画

2023 年（令和 5 年）

■担当部署 中川村役場 建設水道課 建設係
〒399-3892
長野県上伊那郡中川村大草 4045-1
TEL : 0265-88-3001 FAX : 0265-88-3890
E-mail : kensetsu@vill.nagano-nakagawa.lg.jp